

## 一日いても無料 子育て応援の児童館

惣領3町内にある保健福祉センターはびねす内にある「児童館」では、開館時間の10時ともなると、親子連れで遊ぶほほ笑ましい姿が見られます。

0歳から18歳まで無料で利用でき（日・祝日以外）、小学生は午後5時、中学生以上は午後6時まで入館することができます。広崎1町内に住む水田仁実さんは、5カ月になる長男の柊真ちゃんを連れてよく利用するそうです。「上の娘を保育園に送った後で、ここに来ます。同じ世代の子どもも育てるお母さんたちと子育てにつ

いて話したり、スタッフの方々も相談に乗ってくれます」と話します。

そうこうするうちに、惣領3町内に住む浦田志帆さんと長男の泰輔ちゃん（2）、長女の結衣ちゃん（3カ月）もやって来ました。「週に2〜3回ほど利用しています。家と違い館内は広くて安全に走り回れるし、息子は同じくらいの子どもと遊びたい盛りで、ここに来るのが楽しみです。ママたちにも話すと志帆さんが笑顔を見せます。

エアコンがほどよく効いた清潔な館内。遊具はもちろん、他にもリクエストすれば無料で貸し出される知育玩具もそろっています。「小さなお子さんはもちろん、小・中学生は、学校から一旦帰宅してから、児童館で宿題をしたり



児童館のスタッフの皆さん。左から中路順子さん、福山さん、矢野道代さん



普段着もおしゃれな穴井さん



穴井さんが描いた「水前寺公園」を題材にした刺しゅう

## 刺しゅうを愛して

同館では月に1度、絵本の読み聞かせや工作、スタッフが1時間ほど子どもを預かり、ママたちにリフレッシュしてもらおうプログラムなども用意されており、全て無料です。

惣領2町内に住む、穴井順子さんを訪ねました。穴井さんの趣味は刺しゅうです。玄関やリビングには、長年手掛けてきた美しい作品が飾られています。

「夫が転勤族でしたので、専業主婦だった私は家での時間を自分なりに楽しみたいと、刺しゅうを始め、数十年になるかしら」と上品な笑顔を向ける穴井さんは、針

を持たない日はないそうです。「刺しゅうは無心になれます。それに、細かい手作業はボケ防止にもなるしね」とおちゃめに笑います。そんな穴井さんは料理も得意です。「出来合いの物は買ったことがありません。シャケのお煮付けは、一度軽く焼いてから煮付けると、翌日も軟らかくいただけれるんですよ」と教えてくれました。

5年前に78歳で亡くなった夫の博文さんとは、実に仲のいい夫婦だったそうです。「優しい人でしたよ。生まれ変わっても、また夫と一緒にになりたい」とほほ笑む穴井さんは、家族に見守られて穏やかな日々を送っています。



保健福祉センターはびねすの中にある児童館



「児童館で出会うママさんたちの時間も楽しみます」と水田さん



「安心して子どもを遊ばせることができます」と浦田さん



愛らしいポーズを見せてくれた泰輔ちゃん